

翁 12/4 SAT <sup>2021</sup> → 2/13 SUN <sup>2022</sup>

長野良市  
NAGANO Ryoichi



川辺川、新村の吊り橋 2020年 作家蔵

忘れえぬ記憶  
生まれくる風景



豊永和明  
TOYONAGA Kazuaki



夕刻の城影 2019年 作家蔵

長野梢人  
NAGANO Shoto



新阿蘇大橋 2020年 作家蔵 ※映像部分

会場：1・3階展示室 主催：つなぎ美術館（津奈木町）  
観覧料：一般300円（250円）  
高校・大学生200円（150円）小・中学生100円（50円）  
※（）内は20名以上の団体料金※水俣市・葦北郡内の学校による利用は事前申請により無料。  
※津奈木町在住または津奈木町の学校に在籍する小・中学生は無料。



江戸時代以降、自然災害の記録は、絵図、書物、写真、絵画、動画などさまざまなメディアによって行われてきました。そこには、惨状とともに復興にともない新たな暮らしや文化が生み出されてゆく過程が記録者の視点によって残されています。今冬で熊本地震から5年、令和2年7月豪雨から1年以上が経ちました。二つの自然災害の当時とその後の復興へ向けた取り組みのようすを3人の熊本ゆかりの写真家による写真と動画で展示する本展が、記録者としての作家の視点と記録性について考え、今後も発生するであろう未曾有の事態への方策に関する思索を深める機会となれば幸いです。

アーティストトーク

日時：12月4日(土) 14:00~15:30

会場：つなぎ美術館 1・3階展示室

ゲスト：長野良市 豊永和明 長野梢人

参加費：観覧料 定員：20人(事前申込不要・先着順)

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等のため内容が変更になる場合があります。

EVENT



長野良市 人吉市中神町大柿 2020年 作家蔵

**長野良市(ながの りょういち)** 写真家  
1957年、熊本県生まれ。青山学院大学卒業。日本写真芸術専門学校卒業。写真事務所「阿蘇アースライブラリー」を設立し、国内外の自然、暮らし、文化・歴史などを幅広いテーマと多角的な視点で撮り続けている。

**豊永和明(とよなが かずあき)** 写真家  
1973年、熊本県生まれ。大阪芸術大学映像学科中退。30代より独学で写真撮影を始め熊本を中心に活動。その後、佐賀、東京と拠点を移しながら全国をフィールドに撮影を行い、現在はSNSで多様なジャンルの作品を発表している。日本広告写真家協会会員。

**長野梢人(ながの しょうと)** 写真家  
1988年、熊本県生まれ。青山学院大学を卒業したのち、2013年に生まれ故郷の南阿蘇村に戻り、父親の長野良市よりドローンと写真撮影技術を学ぶ。熊本地震後の阿蘇の復興などを動画にて記録し続けている。日本写真家協会会員。

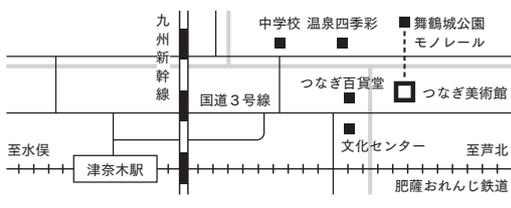
忘れえぬ記憶 生まれくる風景



豊永和明 next 2021年 作家蔵



長野梢人 球磨川と川辺川合流地点球磨川第4橋梁流失 2020年 作家蔵 ※映像部分



※美術館併設のモノレールは令和2年7月豪雨で被災したため運休しています。運行再開は2022年春の予定です。

Facebook / @tsunagiartmuseum  
Twitter / @tsunagiart  
Instagram / tsunagiartmuseum

肥薩おれんじ鉄道津奈木駅から徒歩10分  
九州産交バスつなぎ温泉前バス停から徒歩2分  
南九州西回り自動車道津奈木ICから車で3分  
JR九州新幹線新水俣駅から車で10分  
※運行状況・道路状況は事前にお調べください。

**つなぎ美術館**  
TSUNAGI ART MUSEUM

〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494  
TEL 0966-61-2222 FAX 0966-61-2223  
www.tsunagi-art.jp